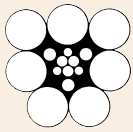
(a) 三角ストランド形

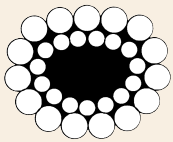
従来は三角線の周りに外層素線をより合わせていましたが，最近は丸線をより合わせて三角形にした心の周りに素線を 1 層又は 2 層より合わせた丸線三角心ストランドが一般的になっています。

(b) 蛤形ストランド形

断面が蛤形をしたもので，このロープは，一般には 3 又は 4 ストランドとなっています。また，耐疲労性のほかに非自転性も兼ね備えており，広く使用されている当社の**モノロープ**はこれに属しています。



三角ストランド形
フラット形
6×F〔(3×2+3)+7〕



蛤形ストランド形
モノロープ
4×F (30)

図3-7　フラット形ストランドロープの断面例

5 心　　綱（ロープの心）

心綱は繊維心と鋼心との 2 つに大別されます。

❶ 繊 維 心（Fibre Core，FC と略称する）

繊維心は，①ストランドを支えてロープの形を保つと同時に，②ロープグリースを保持して，使用中にロープの内部から潤滑と防錆に必要なグリースを補給するという 2 つの重要な働きをします。従来は天然繊維が多く用いられていましたが，最近では合成繊維も使用されるようになってきました。

天然繊維には，マニラやサイザルなどの硬質繊維とジュートや比較的細径のロープに用いられる綿糸などの軟質繊維との 2 種類があり，また，合成繊維には，含油性が良くなるように特殊加工が施されたポリプロピレンが用いられます。

繊維心の特長としては，鋼心に比べて，

①ロープの柔軟性が大きい。

②ロープに加わる衝撃や振動を吸収する。

③ロープグリースを含みやすい（特に，天然繊維の場合）。

④ロープの質量が小さい。

などがあります。なお，合成繊維は天然繊維に比べて耐食性に優れています。